

令和 6 年度情報交換会 事前アンケート結果

テーマ「自宅で災害にあった時の避難方法や課題」

1. 家庭で準備していること(準備しているもの)はありますか？

食品	品物	その他
水	ガスコンロ・ガスボンベ	貴重品をすぐ持ち出せるようにまとめている
お茶	酸素ボンベ	地域の避難場所を家族で把握している
非常食	電池	日頃からキャンプ用品を使って料理している
レトルト食品	簡易トイレ	2 階にも避難用にサンダルを用意している
そうめん	着替え	通院している病院に避難できるよう登録している
ふりかけ	オムツ・紙パンツ	水を箱買いして日常使いしている
とろみ	ペーパー類・ラップ	食材を常にローリングストック法で保存している
	テント	地域の行事や避難訓練に参加している
	発電機	町内の世帯調査に要支援者として登録している
	普段飲んでいる薬	町内の人に子供の顔を覚えてもらう
	100 均のおもちゃやパズル	準備していない



準備をしても、

十分な量が確保できているか心配・・・

というご意見もありました

2. 自宅で避難が必要になった場合、どのように対処したらよいと思いますか？

避難方法・場所について

- ・ 車で安全な場所へ避難する
- ・ 徒歩で近くの小学校・避難場所へ避難する
- ・ 福祉避難所へ避難する
- ・ 避難所なるべく迷惑にならないような場所を確保する
- ・ 好きな物で基地を作り、安心できる場所を確保する
- ・ 配慮してくれる福祉避難所が見つかれば避難する
- ・ 避難所に行かず、車の中で過ごす
- ・ 避難所でストレスが溜まり荒れる為、避難しない
- ・ ずっと一緒に居て、不安を無くす

子供への伝え方について

- ・ 絵カードで伝える
- ・ 大人が焦らずに伝える
- ・ 安心する言葉を大事にする(家族みんな一緒など)
- ・ 状況を分かりやすい言葉で伝える
- ・ 目印になるようなわかりやすい場所を伝える
- ・ 持ち出しに必要な物を部屋の入り口に置いて見せる
- ・ 波が来たら避難する高い場所の名前を伝える
- ・ 避難の必要性を伝える



持ち物について

- ・ 持ち出す物を決めておく
- ・ 最低限の着替えや食料をリュックに入れる
- ・ 多すぎて、どの程度まで絞って持っていけばよいかわからない

その他

- ・ 安否確認できるツールを準備しておく(LINE 安否確認、災害用伝言ダイヤル等)
- ・ 高齢の祖母が居るので、どのように対応していいかわからない



3. 災害時に考えられる課題は何ですか？

行動面

- ・ 子どもとはぐれた時の対処。(親の名前や地名が言えるか)
- ・ 慣れない場所では落ち着かない。静かに出来ない
(しゃべり続ける、質問責めになる、事前に相談員さんに相談しておく必要がある)
- ・ 伝えたらわかるが、ずっとしゃべり続ける
- ・ パニックになり子供にうまく伝えられなかったり、伝わらなかったりする可能性がある
- ・ 大人がパニックになり、子どもにもそれが伝わりパニックになる可能性がある
- ・ 持ち出し物の準備不足で逃げ遅れたり、避難する場所が分からなくなったりするかもしれない。
- ・ 消防車、救急車、避難所の物音、人の声に耐えられない
- ・ たくさんの人、狭いののに人口密度が高いところで怒る
- ・ 避難所へ入れない(家に帰りたがる)
- ・ 感情のコントロールが出来ない
- ・ 不安が強く避難所で過ごせない

食事面

- ・ 偏食のため支給された食べ物を食べられない可能性がある
(決まったものしか食べないので食事面が心配)
- ・ 食事の時にたくさん人がいると興奮して食べづらくなる

トイレ面

- ・ 行ったことがない初めての場所が苦手なトイレに何度も行く
- ・ トイレ(和式か洋式)によって出来ない可能性がある

その他、環境面

- ・ 段差や階段が多くないか心配
- ・ 福祉避難所の数が少ない
- ・ 周りの方に迷惑を掛けるのではないか

- ・ 親の精神的な負担が大きい
- ・ 障がい者とその家族向けの避難所(事業所や学校等)を充実させ開放してほしい
- ・ 子ども達が家族以外で落ち着ける場所は慣れ親しんだ学校なので解放してほしい
- ・ 寒さ、暑さ対策が出来るか
- ・ 出先で被災した場合の薬の確保が出来るか
- ・ わからない

一部抜粋、まとめさせていただきました。

たくさんのご意見をいただき、情報交換会当日も、充実した話し合いが出来ました！

ご協力・ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました！！